

第1回鳥取市市政改革推進市民委員会・議事概要

日 時：令和2年7月7日（火） 午前10時00分から午前11時40分

会 場：鳥取市役所 本庁舎6階 6－7・8会議室

出席者：《委員》9名出席

山下 博樹 委員長、川口 有美子 委員、河崎 誠 委員、竹本 剛 委員、
田村 康悦 委員、中井 みずほ 委員、村尾 昌彦 委員、岸 舞 委員、奥村 稀良 委員
《鳥取市》

羽場副市長、浅井総務部長、河口総務部次長兼行財政改革課長、
谷口主査兼行政経営係長、藤原主幹、平野主任

会議内容

1. あいさつ

羽場副市長：

年が明けてから新型コロナウイルス感染症対策に取り組んでいるところだが、何とか普段の生活ができるような体制へ、鳥取市としても市民の皆さんと一緒に一生懸命頑張っていきたいと思っている。

今日はそういった中で第1回市政改革推進市民委員会にお集まりいただき感謝申し上げます。

鳥取市は中核市になって、麒麟のまち連携中枢都市圏を形成して1市6町と一緒に圈域を発展させていこうと取り組みを始めたところである。そういった分野のご意見も頂戴できればと思う。今日から2年間、皆さんからいろいろな分野の忌憚のないご意見を頂戴し鳥取市がより良い形で進むようにお力を貸していただきたい。

浅井総務部長：

コロナの影響でモバイルワークとかA I・R P Aとか新しい言葉も出てきているが、こういった取り組みが現実味を増していくと考えているし、質の高い行政サービスと効率的な行政経営という2つの観点をもとに皆さんのご意見を参考にさせていただきより良い市役所づくりに努めていきたいと思う。

3. 各委員自己紹介

4. 委員長、副委員長の選任

委員長 山下 博樹 委員

副委員長 松本 公彦 委員 を選出

委員長：

前の委員長も山下さんという方で、リーダーシップでぐいぐいみんなを引っ張って

くれる委員長だった。私にはそこまでのパワーはないので、皆さんのパワーを引き出すような役割で委員会を進めていけたらいいなと思っている。忌憚のないご意見をどんどん出していただきたいと思うので、よろしく願いしたい。

5. 議事

①市民委員会の役割と今後のスケジュールについて

②鳥取市市政改革プランについて

事務局：

(資料1を説明)

この市民委員会は行革という視点で市民目線のご意見をいただくということが役割で、一番大きなところが本市の市政改革プランの進行状況をご議論いただくということである。市政改革プラン実施計画に73の事業があるが、前回の第9期委員会ではその事業について目を通して評価いただいた。

前回たくさんある事業のすべてを見ていただいたので、大変だったというご意見をいただいていることから、今期は委員を2つのグループに分け、それぞれで評価をしていただき、それを発表して共有していくというスケジュールで、負担の軽減を図りつつもう少し深く中身を見ていただくという形はいかがかと考えている。

併せて鳥取市が行っているいろいろな事業、例えば、今回7月の臨時議会に提案予定の第4弾のコロナ対策でいうと、小中学校へのサーマルカメラの導入や市内全域の光回線の整備といったものだが、こういった事業を次回ご説明して、ご意見をいただいて、施策に反映するといったことをやっていきたいと思っている。

イメージしにくい部分もあるが、まずは市政改革プランをしっかりと読んでいただき、73の事業に皆さんからご意見をいただく。それから鳥取市がやっているいろいろな事業をご紹介します、場合によっては担当課を呼んでヒアリングというようなこともさせていただきたいと思う。

最終的に、2年間の活動を参考資料2のような報告書にまとめて、市長に提出していただく。いただいたご意見はできる限り政策に反映して取り組んでいきたいと思っている。

委員長：

委員の皆さんから何か質問等はないか。一通りの説明では分からないこともあると思うが、今日この時点で聞いておきたいことがあれば遠慮なく聞いていただきたい。

スケジュールについては、グループを作って、もう少し中身も含めてしっかり見れた方がいいのではないかとということであのようなご提案をいただいたかと思う。その辺について、特にこれまで委員をされていた方で感想やご意見があればお聞かせいただけたらと思う。

A委員：

特に大変だったというイメージはなかったが、分けた方がじっくり見れるのではないかという感じはする。それぞれの得意分野というか、興味のある部分があると思うので、どういう風に分けるのかということが出てくると思う。

B委員：

73の施策をいくつかのグループに分けるというイメージか。規模というか、そのイメージが少し湧かなかった。

委員長：

先ほどの説明では2つということだった。

B委員：

半分というと一人当たり35、6の施策を見ていくというイメージか。

委員長：

そういうことになる。逆に残り半分は何も知らないという風になってしまうのはいいかどうかは確認しないといけないと思う。

B委員：

73の施策を2つにどう分けるかは次回以降検討されるということで、自分がどちらのグループに属するかも次回以降ということか。

委員長：

全部の施策を見た方がいいというのであればそれはそれであると思う。

C委員：

私も分けていただけると大変助かると思った。どうしても自分が分からない分野は多く、そうなのか、となってしまう部分もあったので、自分が分かる、意見が出しやすい分野で分けていただけると意見は出やすいと思う。

委員長：

今お話ししていただいたのは前期から委員をされていた方々で、感想も含めて発言していただいた。他の方でもざくばらんに何かお気づきの点、あるいはご質問等あればと思う。

D委員：

我々はプランに対してみんなでそのプランはどうかということをお話ということでよいか。そうではなく、進行状況に対して意見を言うということか。

委員長：

鳥取市が目指す大きな目標に向けて70いくつかのいろいろな対策を練って計画を立ててそれぞれ担当課が進めていくが、一つは大きな目標に向かってやっていることが妥当かどうか。それに対して適切なやり方あるいは進捗状況がなされているか。担当課がそれを適切に自己評価できているかどうか。というあたりをチェックしていくということになる。進捗状況等が妥当に自己評価できているかというのが一番大きいですが、実は資料をよくよく見ていくと、その目標に向かってそのやり方で本当にいいのか、と

いうところが我々のところで気づきとして出てきたりすることがあるので、時にはそういう少し踏み込んだところまで意見を交換しないといけないことが出てくる。

D委員

状況を見て感想を述べればいいと。

委員長：

大雑把に言えばそういうことになる。

E委員：

資料に行政の施策として挙げられている10の分野があるが、委員の中で（それに対応して）役割がある10人という訳ではないということか。

委員長：

はい。そこまで細分化はできないので。

E委員：

分かりました。

F委員：

中身に入っていないと具体的にどうというところはないが、私も立場上労働者の支援に携わっており、いろいろな問題を取り上げて市政の方に要望等を幅広い分野でさせていただいているので、どこか共通する部分があると思う。そういったところで2回目以降具体的な提案や意見が言えたらと思っている。

G委員：

施策の量とか、自分がどういう風に意見できるかというイメージが全然湧いていない。自分と距離がある分野もあるかもしれないが、グループを分けてしまって全く見れなくなってしまう施策があると少し寂しい気持ちもあるかなと思っている。全体を見てみたいという気持ちはある。

H委員：

いろいろな立場や職業の人がここにいて、自分の興味のある分野、得意な分野で全然知らないこともあると思うが、その中でいろいろ意見交換とか、交流しながら自分なりの意見を出していきたいと思った。

委員長：

私も含めて皆さんそれぞれ興味・関心はあっても必ずしも行政に関する専門家というわけではないが、この委員会のいいところは頭に「市民」という言葉がついている。皆さん平等に市民なので、市民の立場として気が付いたこと、言いたいことを発言していけばいい。そういった点で少し気楽にいろいろなことが言えると思っている。

事務局も含めて他に何かあるか。

事務局：

少し市政改革プランのご説明をさせていただきたい。先ほどご意見いただいたようになかなかイメージが湧かないというのが実態だと思う。いきなり評価していただく

ことは考えていないので、少しずつ我々がやっている事業をご理解いただき、気づいたところをご意見いただくという形で始めていければと考えている。

(資料2の説明)

委員長：

市政改革プランの中身まではなかなか今日一日で全部は難しいが、組み立てあるいは目的等について何かご質問はないか。

D委員：

光回線の話だが、例えばそれはプランの柱2に入るのか。どこを見れば分かるのか教えていただきたい。

事務局：

新型コロナ対策の部分で光回線の話をしていただいたが、この話はプランの中に具体的には入っていない。この度のコロナ対策でしっかり取り組んだ後で、A I・R P Aといった部分の活用に生かすということになる。この光ファイバーの関係は可能なら実施計画の中に新たな項目として入れていきたいと担当の情報政策課と考えているが現在のところには入っていない。

D委員：

私の住んでいる地域には光が入っておらず、楽しみにしているのでよろしくお願いします。

委員長：

今回の市政改革プランで、前のプランからこの辺りが変わったというような、何か目玉というか、そういう取り組みはあるか。

事務局：

前回の第9期の委員会では、このプランの前の第6次行財政改革大綱というものを見ていただいたが、この度見ていただく市政改革プランは構成が少し変わっている。プランの柱1では、地区公民館の地域運営や、若者の参画といった部分を前回よりも地域との協働という視点で、市民と行政をいかにくっつけていくかというところをしっかりとやっていきたいと考えている。柱2では、組織体制の中で、効率的に業務遂行するためにどのようなものができるかといった内部的なものを入れている。A I・R P Aは、働き方改革の中心となってくると思う。新たなものを取り入れており、どんどん進めていきたいと考えている。柱3では、補助金の適正化ということで、現在いろいろなところに補助金を出しているが、本当に効果が上がるような補助金になっているのか、しっかり見直していきたいと思っているし、公共施設の再配置の中では、小学校の校区の再編を推進している。こういったところが前回とは違う取り組みである。

委員長：

前回までは鳥取市が行っているバラエティに富んだいろいろな施策が網羅されるように挙げていただいていたが、今回は市政改革という表題にもあるような、行政の手法

についての改善ができるようになっているのかなとあらためて思った。

A委員：

2点ほどお聞きしたい。1点は、次は10月の会議だと思うが、意識の問題もあるかもしれないが次回までにある程度資料を読み込んでおいた方がいいのかどうかということ。もう1点は、前回の委員からこういう意見が出てこういう風に変わったという面がもしあれば教えていただきたい。

事務局：

資料の読み込みについてはお願いしたい。ただ、この資料だけ読んでもなかなか理解できない部分があるので、もう少し分かりやすい資料を後日送らせていただく。それに目を通して少しずつご理解をいただけたらよいと思う。また、お時間があれば鳥取市のホームページを見ていただき、興味がある分野で欲しい資料があればメールをいただければお返しするので、それを読み込んでいただくといったことを次の会までにしただいて、気づいたことをご意見いただけたらと思う。

2点目だが、参考資料2の報告書を見ていただきたい。細かい事業でいくと、まず空き家の確保について、費用対効果も含めてしっかりやってほしいというご意見だったが、この度の予算で定住促進相談窓口をさらに増やそうという形で進んでいる。また、東京、大阪の方でやっていた相談事業をもう少し分かりやすく変えて、もっと人が呼び込みやすいように、呼び込まない場合はやらないという形をとるように言っている。

次の、砂像のまちとっとりではプロジェクションマッピングなど魅力的なイベントが少ない、もう少ししっかりとしたコンセプトでももらいたいというご意見だった。アニメをテーマにというご意見については実現に至らなかったが、プロジェクションマッピングについては1回だったのを、今年度は2回できるように検討している。また、期間を10日から2週間程度だったのを1か月弱程度まで延ばすなどして、魅力を高めていきたいと考えている。

次の、ふるさと納税の特設サイトは、伸び悩んでいた部分があり、しっかりと取り組みをなささいというご意見をいただいていた。先日サイトに海外からハッキングがあり情報を取られていたということで、市民やサイト利用者にご迷惑をおかけしているところだが、この度、セキュリティを高めたうえで7月中旬に再開ができることになった。再開に合わせて、かなりのキャンペーンを打って出ようと考えている。また、ふるさと納税のポイント制度の運営体制を整えてさらにふるさと納税を支えていきたいと考えている。

続いて、放課後児童クラブの運営だが、これは前回非常に長い時間をかけてご議論いただいた。より充実しなさいというご意見だったので、予算だけでいくと、1.5倍くらいにしている。併せて指導員の質の向上を図らないといけないということで、指導員の研修を充実するように考えている。

次の、すごい！鳥取市の婚活サポートセンター、こちらは前回の委員会の目玉で、事

業廃止はどうかという厳しいご意見をいただいた。ただ、今年度の予算でかなりの減額にはしているが、廃止までは至っておらず、引き続きとなっている。理由としては民間企業と今年度までの3年間の契約になっており、途中で切ることができないということだった。一方で、今後のあり方をしっかり検討しなさいということだったので、麒麟のまち圏域の連携と併せて、今は契約企業のサポートセンターにどんどんやり方を変えてもらい、会員をできる限り増やすよう取り組んでいる。

次の地域連携DMO「麒麟のまち観光局」であるが、こちらもコロナの関係で打撃を受けており、金融機関等と協力しながら少しずつ復活をさせていこうとしているところである。

最後に、公共交通の市民との協働であるが、これは今回のプランの実施計画にも挙がっている。引き続き、ご意見をいただいたとおりNPO等とも協働しながら進めていきたいと考えている。

委員長：

確認だが、今の説明だと、この実施計画については次回までにある程度目を通して置いてほしいという話がある一方で、実施計画に載っていないことでも関心のあることについては資料請求をしてもらってもよいというお話だったが、計画に載っていないことについてもこの委員会の守備範囲の中に入れて検討していくという話だろうか。

事務局：

少し整理をしてご説明させていただくと、先ほどご説明したように本来のこの会議の中でご意見をいただきたいのはプランの73事業である。ただ来年度でないと事業の具体的な実績があがってこず、評価ができないということである。では今年度は何をするかということで、先ほど少し触れさせていただいたコロナ対策を説明させていただきご意見をいただくという会にさせていただいてもよいし、皆さんから興味のあるようなことをご意見いただければ、担当課を呼ぶなど柔軟な対応ができるかと思う。委員の皆さんがそれぞれ専門の知見を持っておられるので、そういったご意見をいただけるような機会を持ちたいと考えている。スケジュールにはあまり明確に書いていないが、そのような内容ではどうかと考えている。

委員長：

そうすると次回は10月ということで確認だが、先ほどの実施計画、これは来年度以降必ず中心的にやっていかなければいけないことなので、これについては目を通していただくということ。もう一つは、ここに載っていないことでもホームページ等で鳥取市がどんな施策をやっているのか見ていただいて、特にご自分の関心のあること、興味を持って次回以降話を聞いてみたいと思うようなものがあればピックアップをしてもらおうというくらいか。場合によっては事務局でその辺の情報を事前に皆さんから集めていただいてリストアップができれば、第3回、第4回の委員会でどの課に来ていただいてお話を聞いてみようかというご相談が次回にできるかなというところだと思う。

10月まで少し時間があるので、ご協力いただけたらと思う。

4. その他

事務局：

第2回委員会が10月ということで、メールで日程調整等させていただく。それからご興味のある事業の資料等もご遠慮なく、メールでも電話でも構わないので担当に言っていただければと思う。

初めての委員さんもおられて、なかなか分からないところもあるが、市政一般のことでよいので、お気づきになった点があれば担当課の方とコンタクトも取れるので、全然会に関係のないことでもどんどん言っていただければと思う。

5. 閉会

委員長：

今後のスケジュールについては次回10月ということだが、コロナのこともあって先ほどの予定の通りにならないことも出てくるかもしれない。皆さんのご協力をいただいて臨機応変に変更していかないといけないこともあると思う。それでは以上を持って第1回の委員会を終わりにしたい。ありがとうございました。
